

陳情第111号	受理年月日	平成27年9月11日
付託委員会	教育水道委員会	
陳情者	若松区大池町9-51 瀧井 達也 外4名  (署名 1,328名)	
件名	若松幼稚園の存続について  H27.11.11: 7名署名追加	
要旨		
<p>若松幼稚園は、多子世帯が多いことや、小学校区の新1年生に占める卒園児の割合が高く幼少の連携が取れていること、地域との交流が盛んであること、保護者同士の交流が多く保護者の育ちの場となっていること、家庭教育学級への参加率が高く保護者の学びの意欲が非常に強いこと、近隣に私立幼稚園が極めて少ないこと、教員の教育が行き届いており特別な配慮を要する子供の受け入れ体制が整っていることなどの特色がある。</p>		
<p>若松区で安心して子供を産み育てられる体制とは、私立幼稚園における幼少連携の拡充や、幼稚園教育要領に沿った教育ができているかの評価が保護者目線でわかること、教員の質の向上と、保育人数に対する教員の数が不足していないこと、幼稚園という場所が保護者の育ちの場につながっていること、特別な配慮を要する子供の受け入れを拒む園がなくなること、保育料の負担が大きく変化しないこと、閉園により行き場のない子供や保護者が出ないことである。</p>		
<p>全国的に厳しい財政状況から、公立幼稚園の統廃合が進んでいるが、幼児教育への投資は、未来を担う子供たちへの投資であり、将来の北九州市への投資でもある。財政難、核家族化、少子化など子供を取り巻く環境が決してよいとはいえない現代社会で、公立幼稚園は学びの芽生えを大切にして、生きる力の基礎を育み、より質の高い幼児教育を目指し、日々研究実践を行っている。</p>		
<p>については、教育者や保護者、地域の教育・保育要求を十分に聞き、これまでの教育・保育実績を正當に評価した上で、少なくとも安心して子</p>		

(続 く)

供を産み育てられる体制が確立するまでは、若松幼稚園を存続させてい  
ただきたい。